

◆称号者研修会で気付いたこと

(県連顧問：竹村 邦夫)

称号者研修会は何の為にするのでしょうか？何をすればよいのでしょうか？

今年の研修会は47名のたくさんの参加で行うことができました。皆さん、心を一つにして積極的に行動していただいたと思います。研修会の目的は、称号者としての心得、称号者の皆さんのそれぞれの射技の向上、課題の克服と指導力の向上だと思えます。皆さん、そのように考えて参加されているのでしょうか？

私には、錬士になっても、教士になっても、弓を教えてほしい、ベテランになっても教えてほしい、と思っただけで参加されているように思えます。称号者は五段以下の若い人達をどのように導くか、その指導力を身に付けたいと考えておられる方が少ないと思えてなりません。47名の皆さんが、正しい弓道を学び、そして支部に帰って指導していただければ、奈弓連の連盟力が向上すると思えます。

《予習と復習》

私達、小学校の頃から、予習をして来なさい、学校で習った後は、必ず復習しなさいと、いやと言うほど言われて来たと思います。

皆さん、今回の研修会の前に予習をして来ましたか？予習されておれば、入場から退場までの基本動作の研修の時間は省略できたと思えます。その時間を射技研修や指導力の研修に廻せるのではないかと思います。

そして復習、もう支部で研修会で得たことを皆さんに伝達されたでしょうか？二日間の研修で、それで終わりとなっていないでしょうか？もしそうだったら、研修会の意味がないと思えますし、又来年同じように、入場では、国旗に正対して、本座で膝頭をそろえて、退場では出口の真中から、そしてすぐに体をくずさないからやらなければなりません。

《二年前の川村先生のお言葉》

皆さん覚えておられますか？

この二日間で取り組んだことを五月の京都大会で生かして下さい。錬士の部で、教士の部で優勝するのだ、審査では教士に合格するのだ、六段になるのだ、七段に合格するのだと強く思ってやってください。その為に五月までのスケジュールを決めて取り組んで下さい。今からでも間に合いますよ！！やるのは僕ではありません。あなた方です。やりなさいよ！！以上です。

と強く言ってもらいました。川村先生から私達を見れば全く日頃、真剣に取り組んでおられない方々だと見透かされての発言だと私は思いました。(右上へ)

その川村先生と本多先生が来年来ていただけるそうです。その前に私達は予習をやりすぎることはありません。

両先生は、私達に何を教えようか？どのような方法で教えれば皆さんの為になるのだろうか？と真剣に考えて来ていただけたと思います。

重複しますが両先生に入場から退場の仕方を教えてもらわなくても良いように、今から一年間頑張ろうではありませんか！！今年近畿の当番県です。私達は称号者の皆さんに少なくとも近畿で一番すばらしい皆さんになつてもらいたいと願っております。

《復習の一つの提案》

各支部で月に一回程度、全員集まって基本動作の稽古と決めても長続きはしないと思えます。

一年に何回か連盟主催の行事があります。称号者の皆さんにできるだけ参加していただき、入場の際の大前の礼の仕方、そして何歩で入場し、何歩で本座まで進み膝頭を合わせるようにしましょうと称号者の皆さんは自分の三人のチームに声かけをして、それを習慣付にしていただければと思います。

技の習熟とは、何年も続ける努力によっていつの間にか身に付くものだそうです。

たいへん偉そうな事を申しましたが、私も含めて努力を続けて行きたいと思えます。

◆理事会報告

3月6日奈良県弓道連盟理事会を橿原公苑会議室にて開催し、各部より来年度事業計画案が示されました。詳しくは、評議員会にてお示しします。

○便覧について

便覧を従来の形(冊子)ではなく電子化することになりました。連絡先など、個人情報記載されている詳しいものを各支部代表者様へメディアで配布します。個人情報などを省いたものは県連HPに掲載します。

○その他

審査に関して様々な意見が出されました。審議の結果、最初の受審までの経験年数、級位から初段受審等に関する特別な場合は、指導者から審査部へ理由を届けてください。

○評議員会のご案内

場所：橿原公苑弓道場 日時：4月10日(日)審査講習会終了後17時頃の予定です。

資料の配布などもありますので準備が出来次第始めます。

(事務局)

◆第2回近畿中学生弓道錬成大会

- 1 日時 平成28年1月31日(日)
- 2 主催 近畿地域弓道連盟連合会
- 3 会場 大阪城弓道場
- 4 種目・種別 男女近的 団体戦及び個人戦
- 5 競技規定
 - ・団体競技 各自四矢2回8射(計24射)を行い、総的中数で順位を決定する。同中の場合、各自1射(計3射)の競射を行う。
 - ・個人競技
- 6 表彰 男女 各部門上位3位

近畿地区の19校の中学生(男子87名、女子78名計165名)の参加がありました。

結果は以下の通りです。

<個人戦>

【男子】

- 優勝 近藤 奨紀(報徳学園)
2位 山下 優一郎(香芝)
3位 芦田 康洋(報徳学園)

【女子】

- 優勝 吉田 実莉(檀原)
2位 野村 寿々香(青翔)
3位 植木 鈴華(大成)

<団体戦>

【男子】

- 優勝 六甲A(杉本,栗林,岸本)
2位 報徳A(芦田,八木,近藤)
3位 大成A(小林,吉田,小南)

【女子】

- 優勝 洛北附B(金田,平田,西田)
2位 香芝B(東,吉田,古内)
3位 天理南A(奥村,米川,村本)

(中体連:中前 芳一)



編集後記

二年間編集を担当させて頂きましたが、本号を持って卒業させて頂きます。誤字や間違いなど、いろいろと見苦しい紙面も多々あったことをお詫びいたします。

来月号からは野尻賢司さんにバトンタッチです。新しい視点で新しい紙面にして頂けると思います。

今後は投稿者として、奈弓連便りの編集に協力して行きたいと思います。